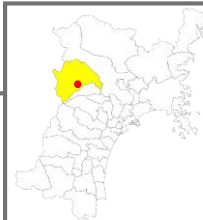


農村RMO形成モデル支援 鹿原地区 鹿原地区コミュニティ推進協議会（宮城県加美町）



多面的機能の保全を担う活動組織や関係団体と連携して行う農用地の保全、鹿原ならではの魅力ある地域資源を活かした地域活性化、地域内で助け合う生活支援などに取り組み農村RMOとしての発展を目指す。

#担い手の確保、#地域内で連携した農地保全、#鳥獣被害対策

対象地域

(事務局名)
鹿原地区コミュニティ推進協議会事務局

(地域の範囲)
小学校区（3集落）
※令和7年度末で閉校予定

(土地面積（R6.1月時点））
5,580ha

(農地面積（R5.12月時点））
280ha

(世帯数（R5.12月時点））
209戸

構成員

- ・各行政区
- ・北鹿原ふるさと保全会
- ・南鹿原ふるさと保全会
- ・東鹿原集落環境保全会
- ・鹿原地区婦人会
- ・各地区天寿会
- ・各地区子ども会

活動に関連する他の施策

- ・多面的機能支払交付金
- ・集落支援員
- ・地域力向上支援事業

取組の背景

- 加美町では、協働のまちづくりを推進するため、おおむね小学校区単位で、地区公民館の指定管理を受けている各地区コミュニティ推進協議会を中心とした地域運営組織の形成を支援している。各地域の活動状況にあわせて集落支援員の派遣などを行い、地域づくり計画が策定できた地域から、地域運営組織として活動を開始している。
- 鹿原地区コミュニティ推進協議会は、鹿原地区地域運営ビジョンの策定が完了し、令和6年度から活動を開始する。
- 鹿原地区に3組織ある多面的機能支払交付金の活動組織が、それぞれで抱える課題の解決や、農業の担い手を含めた作業者の確保、作業負担軽減を図るため、鹿原地区コミュニティ推進協議会と連携した農村RMOの設立検討に至った。

取組内容

